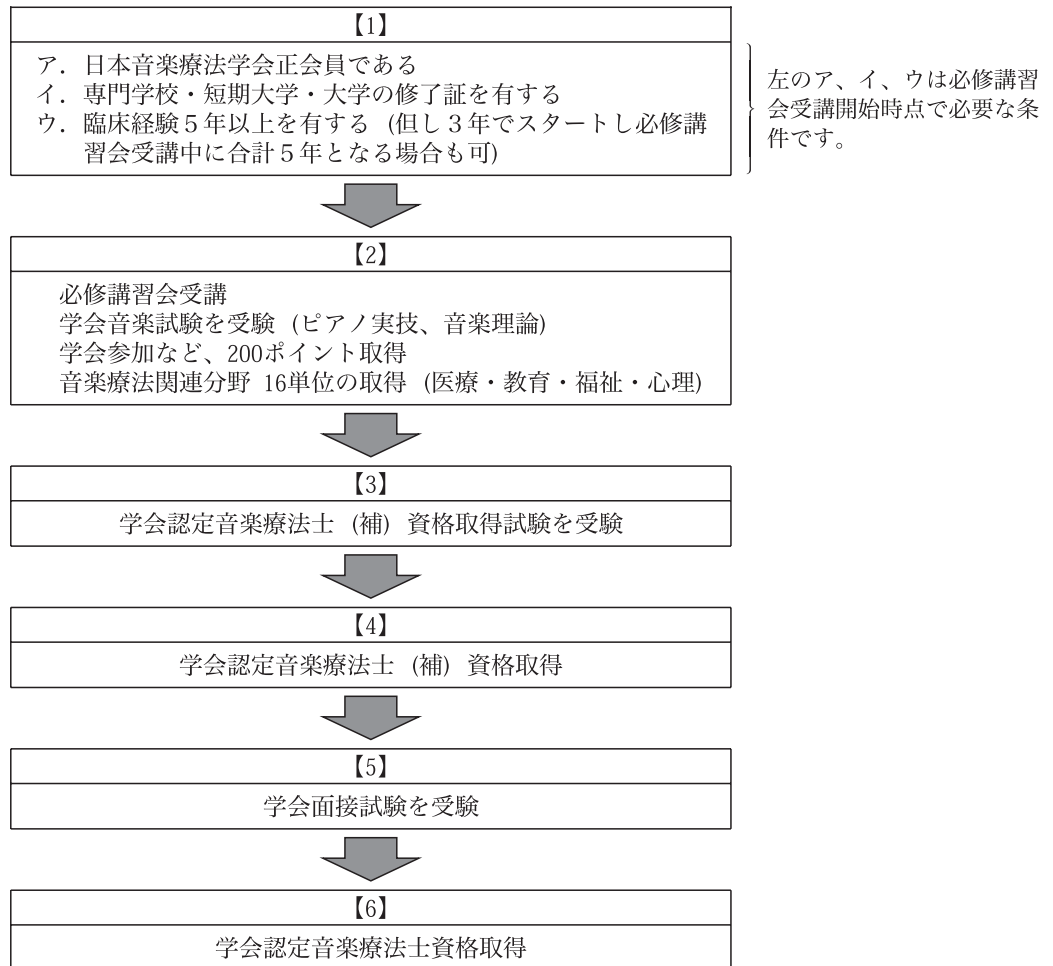


■ 「新認定制度」のお知らせ ■

資格認定委員会

2010年度からスタートする学会の「新認定制度」につきまして、Ⅰ 資格取得の流れ、Ⅱ 資格取得の流れの説明、Ⅲ 新認定制度の日程試案、Ⅳ 音楽実技・楽典試験の実施要項の4つの項目に分けてお知らせします。(ⅠからⅢはパンフレットにて既報)

Ⅰ 資格取得の流れ



*新認定制度による資格取得を希望する方はMT 概論1から講習会受講をスタートする必要があります。(2010年は9月、9ページ参照) 途中からの受講はできません。

*必修講習会受講について

新認定制度の学会資格取得希望者は、必修講習会の受講後、講習会当日交付される受講証明書と臨床経験3年以上を証明する書類(施設長など勤務先責任者によるもの)および専門学校・短期大学・大学の修了証(卒業証明書)を添付して指定された期間内に「学会資格取得希望者のためのレポート」を学会本部に郵送し、それが認定された場合、資格取得のための必修講習会を受講したことを証明する受講証(以下必修講習会受講証)を取得することができます。この受講証は資格取得のために必要な証明となります。

また、必修講習会申込時に資格取得希望の意思を表明しないまま4コマすべてを受講された方で、受講の時点で受講条件を充足していた場合、当日交付される受講証明書と臨床経験3年以上を証明する書類(施設長など勤務先責任者によるもの)および専門学校・短期大学・大学の修了証(卒業証明書)を添付して指定された期間内に「学会資格取得希望者のためのレポート」を学会本部に郵送し、それが認定された場合は、必修講習会受講証が与えられます。

ただし、必修講習会受講後に臨床経験3年以上の証明書類および専門学校・短期大学・大学の修了証(卒業証明書)の提出がない場合には、「学会資格取得希望者のためのレポート」を提出されても必修講習会受講証は発行されません。必ず受講条件を充足しているかご確認の上、必修講習会の受講をお申し込みください。

*音楽療法士(補)の資格を有する方と海外の音楽療法士の認定資格を有する方は、「新認定制度」に依らず、従来の認定制度が継続して適用されます。

II - 1 資格取得の流れの説明

【1】	右の条件を満たす者	<p>日本音楽療法学会正会員 専門学校・短大・大学以上の修了証を有し、なおかつ5年以上の臨床経験を有する。そのうちの3年は音楽を使用したものでなくてもよい。(但し、臨床経験3年でスタートし必修講習会受講中に合計5年となる場合も可)</p>	<p>専攻領域の特定はない(音楽・医療・教育・福祉・心理以外も可能)が、【3】の(補)の受験までに、学会カリキュラムガイドライン01に指定されている音楽療法関連分野(医療・教育・福祉・心理)16単位の取得が必要である。 必要な16単位のうち、取得していない単位は放送大学などの科目等履修などにより取得すること。【2】の必修講習会と平行して取ることができる。 臨床経験とは、医療・教育・福祉・心理の現場において、対象者と直接かかわる経験を指す(例:教師、OT、PT等、介護職、音楽レスナー等)。ただし、一般演奏活動、福祉施設などでの演奏活動、医療事務などは該当しない。 臨床経験は、必修講習会受講と平行して2年間にわたって積むことができる。5年のうち、2年間は音楽を使用したものである必要がある(例:音楽教師、音楽を使ったレクリエーション活動など)。 臨床経験5年以上とは、12ヶ月間に40日間の臨床経験を1年とみなす。12ヶ月を待たずに40日に達しても、開始月から12ヶ月の経過を要する。 12ヶ月以内に40日に達しない場合は、40日に達した月をもって、1年間の臨床経験とみなす。なお、一日の中での臨床の時間数は問わない。</p>
【2】	必要事項および手続きの流れ	<p>必修講習会をすべて受講する。</p> <p>学会参加などにより、200ポイントを取得する。</p> <p>受講前の3年以上の臨床経験プラス2年間の臨床経験を重ねる。</p>	<p>開催予定スケジュールは別紙参照。 必修講習会は2年サイクルで開催される。 2日間にわたって継続して開催される講座は、すべて通して受講する。 何らかの理由で一部受講できなかった場合は、次のサイクル、あるいは別会場で受講する。 必修科目の読み替え(例:認定校における履修による音楽療法関連の単位取得)は一切ない。詳細は新しい認定規則を参照されたい。 必修講習会の中の「音楽療法技法A」の受講前に、ピアノ実技と音楽理論の試験を受験して合格する。</p> <p>(補)受験までに取得しなければならない1200ポイントの対象は次の通りである。 学術大会や支部大会への参加は、必須 研究発表は、必須 講習会受講 スーパービジョン受講 なお、従来的一般申請の暫定期間中に既得したポイントは新制度においても有効とする。</p> <p>ただし、音楽を使用していない臨床経験3年でスタートした場合、(補)の受験時までに2年間の音楽を使用した臨床経験が必要となる。</p>
【3】		学会(補)受験	
【4】		学会認定音楽療法士(補)資格取得	
【5】		学会認定音楽療法士面接受験	
【6】		学会認定音楽療法士資格取得	

II - 2 資格取得にかかる概算費用(予定)

【1】	必修講習会受講費用	1 コマ2,000円 × 80 = 160,000円
【2】	音楽テスト受験費用	10,000円
【3】	(補)受験費用	10,000円
【4】	書類審査および面接試験受験費用	10,000円
【5】	資格認定手続き費用	30,000円
	合計	220,000円

日本音楽療法学会認定音楽療法士
資格取得必修講習会 スケジュール(改訂)

2011年6月現在

年	月	日	曜日	場所	音楽療法概論	音楽療法各論					音楽療法研究	音楽療法技法A(音楽系)	音楽療法技法B(非音楽系)	コマ計	
						発達障害	高齢者	リハビリテーション	精神科領域	ホスピス緩和ケア					
2010	9	24	金	神戸	1~4								4		
		4	土	埼玉	5~8	1~4					実技 理論試験		8		
	5	日	大阪												
	18	土													
	19	日													
2011	6	4	土	東京	9~12					1~4	実技 理論再試		8		
		5	日	大阪											
		18	土												
		19	日												
	9	8	木	富山		5					5~8	1		8	
		9	金	大阪											
		24	土												
		25	日												
	12	3	土	東京										9	
		4	日	大阪											
		17	土												
		18	日												
2012	3	17	土	大阪						9~12	6~9・ 11		9		
		18	日	東京											
		24	土												
		25	日												
	6		土	東京								10・ 12~15	1~4	9	
			土	大阪											
	9	6	木	宮崎	1~4	1~4					1~3	13~16	16		8
		7	金	大阪											
			土												
	12		土	東京	5~8		1~4				1~5	実技 理論試験	5~8	9	
		土	大阪												
2013	1			音楽療法士(補)試験 [東京・大阪同日予定]											
	3		土	東京	9~12	5	5	1~2				17~20	9~12	8	
			土	大阪											
			土	東京											認定面接試験
コマ数					12	5	5	2	5	3	16	20	12	80	

※グレーは第2サイクル

IV 音楽実技・楽典試験の実施要項

必修講習会「音楽療法技法A」を受講するにあたって、事前にピアノの実技試験と楽典の試験が課されることになりました。この実技試験と楽典の筆記試験に合格された方に「音楽療法技法A」の受講資格が与えられます。実施要項は以下の通りです。受験を希望される方は、事前に予習をしておいてください。なお、現在のところ試験は本年の12月を予定しております。詳しい日程、試験会場等の詳細は希望者される方に追って通知いたします。

ピアノ実技

以下に示す各課題曲より任意の1曲を選択し暗譜で演奏する。(繰り返しはしない)
但し3分を経過した場合は、途中でとめることもある。

ソナチネ	アルバム第一巻			
第1番	八長調	作品20 - 1	第3楽章	クーラウ
第4番	八長調	作品55 - 1	第1楽章	クーラウ
第5番	ト長調	作品55 - 2	第1楽章	クーラウ
第5番	ト長調	作品55 - 2	第3楽章	クーラウ
第8番	ト長調	作品36 - 2	第1楽章	クレメンティ
第9番	八長調	作品36 - 3	第1楽章	クレメンティ
モーツァルト	ピアノソナタ	K v 332	第1楽章	
		K v 283	第1楽章	
		K v 333	第1楽章	
ベートーベン	ピアノソナタ	O p 49 - 1	第2楽章	
		O p 49 - 2	第1楽章	
		O p 49 - 2	第2楽章	

楽典の筆記試験出題範囲

音名、音程、調性判断、移調、和音記号 [四声体]、速度標語、発想標語等の基礎的知識。試験時間は60分です。